

# 国立美術館

## 平成18年度の報告について

### ア. 平成18年度の報告について

この研修は、小・中学校教員、美術館学芸員、指導主事が全国から一堂に会し、美術館を活用した鑑賞教育の充実のために研究討議をすることにより、各地域の鑑賞教育や教育普及事業の実践にあたる人材の育成と各地域の学校と美術館との関係の活性化を図ることを目的に、都道府県教育委員会を通じて募集を行い、131名の参加を得て実施したものです。

なお、国立美術館では、来年度以降も本研修を実施する予定です。

国立美術館（東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国立西洋美術館・国立国際美術館・国立新美術館）は、初の全国の教育関係者を対象とした鑑賞教育のための研修を、東京国立近代美術館を会場として、平成18年8月7日（月）から8月9日（水）までの3日間の日程で行ないました。



ギャラリートークの様子（於：東京国立近代美術館 2006年8月）



ギャラリートークの様子（於：東京国立近代美術館 2006年8月）



グループ討議の様子（於：東京国立近代美術館 2006年8月）




グループ討議の様子（於：東京国立近代美術館 2006年8月）



事例紹介の様子（於：東京国立近代美術館 2006年8月）



事例紹介の様子（於：東京国立近代美術館 2006年8月）

[イ. 平成19年度のお知らせについて](#) 

平成18年度 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための  
指導者研修 実施要項

1 目的

子どもたちの健やかな成長のためには、幼い頃から芸術・文化に触れることが重要であり、小・中学校においても、鑑賞教育は重要な教育活動とされている。このような鑑賞教育の重要性を踏まえ、全国の小・中学校等の教員と美術館の学芸員等が一堂に会して研究討議を行うことにより、美術館を活用した鑑賞教育の充実及び学校と美術館の一層の連携を図るため、本研修を実施する。

2 主催 独立行政法人国立美術館

3 共催 文部科学省、文化庁

4 期間 平成18年8月7日(月)～8月9日(水)

5 会場 独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館  
〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1  
TEL:03(3214)2561(代表)  
URL: <http://www.momat.go.jp/>

6 研修内容 別紙1「日程表」のとおり

7 受講者

(1) 対象：受講対象者は、次の各号に掲げる者とする。

小・中学校教員  
美術館学芸員  
指導主事

(2) 募集人数：小・中学校教員については、各都道府県及び各政令指定都市から1名  
美術館学芸員及び指導主事については、各都道府県からいずれか1名

(3) 募集方法：及びについては都道府県教育委員会が、については各都道府県の美術館の推薦等に基づき都道府県教育委員会がまとめ、別紙2「推薦名簿」により国立美術館研修担当宛てに推薦する。

(4) 受付期間：4月3日(月)～5月31日(水)

(5) 受講者の決定：都道府県教育委員会からの推薦に基づき、独立行政法人国立美術館が決定し、通知する。なお、受講者は原則として推薦のあったとおり決定するものとするが、推薦状況によっては、独立行政法人国立美術館において調整を行うことがある。

8 その他

(1) 研修後の課題：研修修了後、各地域にふさわしい様々な方法によって、研修の成果を普及・還元するよう努めること。

(2) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。

〔参加申し込みの際に、必ず参加申込者の氏名を確認し、正確に記入すること。〕

(3) 宿泊については、受講者各自で手配すること。

平成18年度 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修  
日程表

特に表記のないものは講堂で行います

第1日目 8月7日(月)		第2日目 8月8日(火)		第3日目 8月9日(水)	
	9:15	受付 講堂ホワイエ	9:15	受付 講堂ホワイエ	
	9:30	講演 「創造的行為としての鑑賞」 奥村高明 (文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官)	9:30	講演 「函をひらく <美術/館/教育>の名のもとに その逆説と可能性」 長田謙一 (首都大学東京システムデザイン学部教授)	
	10:30	(休憩)	10:30	(休憩)	
	10:40	事例紹介 「学校と美術館をつなぐ学習教材 - 作成から活用を通して」 池田真規子 (神戸市立小磯記念美術館指導主事)	10:40	グループワーク発表 発表者:グループで選出 講評者:長田謙一、奥村高明、三澤一実(文教大学助教授)	
	11:20	事例紹介 「大原美術館 教育普及活動の基礎」 柳沢秀行 (大原美術館学芸課長)	12:20	講評 「研修全体を振り返って」 講評者:長田謙一、奥村高明、三澤一実	
	12:00	(休憩)	12:40	閉講式	
12:40	受付		13:00	(終了・解散)	
13:00	開講式 講堂(着席位置は自由です)	13:00	事例紹介 「美術館と学校の連携 広げるシステムづくりと深めるプログラムづくり」 田中晃 (埼玉県立近代美術館学校・教育普及担当課長)、田島均 (さいたま市立大牧小学校教諭)		
13:10	オリエンテーション		13:50	(移動)	
13:20	講演 「子どもの心と鑑賞」 文化庁長官 河合隼雄		14:00	グループワーク A=会議準備室(4階)、B=講堂、C=エントランス、D=講堂ホワイエ、E=館長室(4階裏)、F=会議室(4階)、G=ビデオルーム(2階)、H=プリントスタディールーム(4階)	
14:10	ギャラリートーク見学 所蔵品ギャラリー2~4階(実施場所はレジユメで確認してください)				
15:15	グループワーク 所蔵品ギャラリー2~4階(実施場所はレジユメで確認してください)				
17:30	(情報交換会) エントランスホール	17:30	(終了)		